

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎朝、ミーティングの後その日のリーダーを中心に理念を復唱し利用者の意思を尊重できる介護を行っている。職員間で気づかない時は「気配り」と声掛けをしている。			理念をもとに毎月目標を決めており毎朝ミーティングで唱和している。目配り気配り心配りをモットーに利用者本位の支援ができていないか常に理念に立ち返り支援に活かしている。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の中で利用者が外に出て交わる行事が無かった事、面会が制限されている期間が長かったことなどを踏まえてあまりできていなかった。しかし11月、12月は集中的にアクリル板越しに面会ができた。	コロナ禍の中、地域や家族との交流を持つことは難しい、感染によるクラスター発生のリスクを考えると面会も制限せざるを得ないが、姫島村に5月現在コロナ感染者がいないことを踏まえて家族の面会を1週間以内に村外に外出してない事、4項目の条件をクリアしていればアクリル板越しの面会ができるように緩和した。状況を見ながら制限と緩和を調整していることは良いことだと思います。		村のすべての行事が中止される中、秋の船曳まつりだけ開催された、どんなふうに見学したらよいか検討しソーシャルディスタンスを保ちながら地域の方と触れ合うことができる話し合いをしたが一部守れず課題となった。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所の現状・活動を報告し会議で取り上げられた意見は職員会議で検討し問題解決・改善に取り組んでいる。又、利用者個別に現症状、家庭環境などの情報交換を行い個々に合った施設への転入等の取り組みが行えている。	毎月、関係者が参集し事業所の活動状態や問題等を話し合っておられ常にサービス向上を図っていることが分かりました。職員の自己評価を見て利用者に対する取り組み、サービスがよくわかりました。		関係団体の長やリーダー、民生委員包括支援センター、役場介護保険担当者が参加。在宅一人暮らしでお薬が飲めていない方、GHで重症になった方等、診療所、GH、他施設と姫島にある機関が連携して姫島から出ていかないで済み本人に適した環境で生活できる支援を話し合いながら行っている。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修の案内、入所、介護保険更新、区分更新の依頼など運営推進会議でも相談するが直接連絡を取り合いメールや訪問で意見交換している。	村関係者とも常に連携をとっておられ協力関係が良く築かれているようです。		地域密着型の為、すべて役場を通してサービスが行われるので提携が密に取れ申請事務のアドバイスもしてくれています。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない	身体拘束委員会を設けて毎月の職員会議で検討や研修を行い身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束廃止が義務づけられた。委員会はあったが更に委員長を任命、毎月の職員会議前に委員会議

		体拘束をしないケアに取り組んでいる	D. ほとんどできていない				を持ち、現状、方針、安全について話し合い、研修をしていきます。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	解放した開かれた施設づくりを目指しているため毎朝虐待防止に関する言葉の復唱をおこない意識づけている。毎日入浴時ボディチェック、皮膚観察を行う。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	虐待防止委員会はあったが義務化により委員長を任命し指針、研修を行い毎月現状報告を行い虐待防止の推進を図っている。問題に上がった接遇について1年間各自12項目の内容で取り組み1ヶ月毎に集計、結果として改善できている。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見制度については施設内研修を行った。又、金銭管理のできない利用者様について社協の成年後見人安心サポートを利用し連携を図っている。			成年後見制度については現在必要としていないが必要時に研修を行いたい。
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時に管理者から家族に丁寧に説明を行っている。又、入退院を含め支払い時に詳しく説明を行い納得を得ている。加算についてはその都度家族会議を開催し了解を得ている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会時や家族会、支払い時に意見交換をしている。出された意見に関しては毎朝のミーティングや職員会議で(図り)早期解決を図っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族アンケートを行いました。家族は、包括支援センター、他事業所のケアマネを通して、ひだまりの利用料金照会、サービスの説明を受けています。又、苦情、意見も受け付け運営推進会議等で報告があります。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営、福利厚生に関しては、職員会議で事務長から報告がある。職員からの要望は毎月の職員会議で聞き、リーダー会議で図り職員と共に進めている。			

11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアパス導入、スタッフI～IIIを設定し各昇給、資格給等を整備した。それにより職員の働く意欲は向上したが、職員も高齢になり新たな若い職員の採用が難しくなっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所としても精いっぱい頑張っている、すべては利用者、職員のために少しでも還元できる配慮をしています。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ここ1～2年はコロナウイルス感染症のためできていない。リモート研修を1回受けている。新人には、介護福祉士による実技講習が行われた。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部研修ができないので、体位交換、車いすへの移乗、食事介助時の体位を施設内研修で行いました。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	同業者間の交流は、コロナウイルス感染症のため出来ていない。ケアマネ、医療関係者、包括支援センターとは行き来して意見交換できている。			どこの施設も面会制限があり出来ていない状況です。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	元気な方には、下膳、膳拭き、忙しい時は声かけて洗濯干しを手伝っていただき、休憩時は、一緒にお茶やおやつをしてお喋りします。			
15	馴染みの人や場所との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の方が気軽に立ち寄り声をかけてくれる環境が出来ていましたがコロナウイルスの為出来なくなっています。ただ、閉じこもりを防ぐために住んでいた地区を回り変化や季節を感じていただいています。	入居者の慣れ親しんだ環境を大切にしていることがよくわかります。コロナ禍においてもできる事を見出し実践されており素晴らしいと思います。		閉じこもり予防に馴染みの山や祭られている懐かしい場所へのドライブ、歩ける方は散策、名所めぐりをして喜んでもらいました。継続していきます。
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時に家族からこれまでの暮らしぶりを聞き取り本人の望む暮らしが出来るように取り組んでいる。言葉で言い表せない人には表情や行動から本人の望む事、嫌う事を			大体のスケジュールはありますが、お天気が良ければ施設内公園で花を見たり、桜、ふじ、あじさい、アサギマダラ等、急に決まり車に乗って見に行ったりしています。

				把握しどうすれば楽しい暮らしができるか考えている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普段の利用者さんの状況をもとに一人一人ケア内容を検討し次の職員会議でモニタリングしている。必要なサービスが提供できるよう全体で計画しています。	毎月の職員介護でケア会議を開き問題点、改善点を共有しチームケアを実践して十分できていると思います。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	たまに介護者側からのケアプラン見直しがケアマネに提示されてきます。4月までの目標が「チームワークを高め良い介護サービスを提供できるようにしましょう。」大変な時は皆でサポートする。を毎朝復唱しています。継続につなげていきます。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別のファイル記録簿に食事・水分・排泄・バイタル・入浴・プラン等日々の暮らしの様子や本人の言葉やエピソードを記録している。毎朝のミーティングで確認し情報の共有を図りながら実践しています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者は7日分の個別総合記録表にすべての記録をし、職員間情報は連絡帳で情報共有しています。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	遠方で暮らす家族には元気で暮らせている情報をLINE画像で知らせる。突発的な病気に対して医師と相談の上、村外病院付き添いを行い病状の安定を図っている。村内病院入院であれば毎日訪問して状態の把握、洗濯物を預かりきれいにしている。	遠方で暮らす家族はコロナ禍において面会制限がされる中ライン画像等で様子を見れるのはすごくありがたいことです。入院時、毎日訪問し状態観察もされており、又、洗濯サービスもするなど入所者様、ご家族の方も安心できると思います。		歯科受診、義歯調節の付き添いも行っています。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	姫島ならではの盆踊りや、施設から高齢者の墓掃除に参加したりできていたがコロナ禍で全ての行事が中止となり社会活動ができていない現状。	社会とのつながりは入所者の社会性の継続にとってとても重要なことです。コロナ禍において出来る事をやられており入所者様も満足されているのではないのでしょうか。姫島ケーブルテレビ視聴で地域とのつながりを感じているのではないのでしょうか。		昔、漁師をしていた方が、ベッドの上で網を繰ったり鯛を釣る動作をしているので 親戚の漁師さんの水槽の中の魚を見に連れて行くと喜ぶのは社会とのつながりとなり利用者様も満足されて良い笑顔になります。

21	かかりつけ医の 受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>ありますが継続協力医療機関である診療所の医師・看護師が毎月1回定期的に診察に来てくれている。歩ける方は通院しています。突発性の受診は基本的には家族に同行を求めて治療は職員が代行し受診結果は必ず家族に報告しています。入退院時は家族と同席で説明を聞くようにしています。</p>			<p>村営診療所が利用者全員のかかりつけ医であり入居後も継続している。月に1.2回の通院診療にも職員が同行し結果を家族に報告している。往診もあり医療との連携は密である。</p>
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>入退院時には、情報提供書で状態の共有を行いコロナのため訪問できないので毎日入院先に電話し用事がないか、変化がないかを聞いて記録表に残し退院に向けて状態の共有に努めています</p>		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>師長を中心に主治医、家族、ひだまり管理者が相談、情報交換が行われ入退院がスムーズに行われている。</p>
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>事業所ができる最大の終末期ケアについて入所時に終末期の確認説明を行っている。重度化し医療が必要になった場合は、意思確認書をもとに家族、診療所と話し合いながら対応している。関係機関と連携しなるべく地元で、入院、入所、療養型に転換出来るように支援しています。</p>		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>ひだまりでは経口摂取ができなくなると医療的処置が必要になり診療所へ入院になります。又、一時的に回復すると併設の特養に入所となりいつでも医師が駆け付けられるようにしています。</p>
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>緊急対応マニュアル作成通りに行かないがほぼ全職員は緊急時の手当てを身に付けている、緊急呼び出しですぐ看護師兼管理者が駆け付け診療所、消防署と密な関係ができていますので手遅れは無いが職員の不安は大きい。</p>			<p>今年の目標達成計画に急変や事故発生時の対応を掲げました、緊急時に速やかに対応できるように訓練し実践力を身につける取り組みをします。</p>

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	避難訓練、火災訓練は出来ているが急な災害が発生すると職員はどうしていいか判らなくなると不安は大きい。施設の前後に職員の住家があり駆けつけることが可能ではある。	不測の事態は、いつ発生するか誰にも分かりません。しかし、そういった状況においてこそ組織力が試されるのであり、事前に訓練を重ねることが重要だと思います。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	災害発生時のガイドラインが作成されたのでそれをもとに見直しを行い研修を重ねていき災害に備えます。食材、衛生材料、おむつの備蓄は用意できているが飲料水のストックは賞味期限があるので途中で止めている、施設内に常に2ℓペットボトル麦茶5本ずつ用意している。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月の職員会議で接遇委員がチェックして出来ていないところを話合っている。忙しい時のトイレの声掛け、ドアの開閉等プライバシーの保護に努めている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	5月の目標が「利用者の気持ちを尊重しより良い介護を提供します」毎朝復唱していますが完全ではないので継続します。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	基本的な1日の流れはあるが、形にはまった過ごし方はしていない。利用者の状況によってその日その日でスケジュールが違い柔軟な生活を送れるようにしています。			状況によっては入浴が午前が午後になったりします。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	献立は1間単位で行い旬のものが使えるようにしている。魚や野菜をいただき刺身、昔懐かしい料理もする。誕生日には好きなべ物を聞き料理しケーキで祝う。常には下膳、膳拭き野菜の皮むきをしてもらっている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ひだまり農園で収穫できているジャガイモ、玉ねぎはほぼ1年分ある、芋も500kg7ヶ月くらい、大根、里芋もほぼ1年分作る、冬野菜、夏野菜と供給出来て季節の野菜料理を楽しめている。切り干し大根は利用者と一緒に皮むきをして干して1年分作る。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	体調に合わせて水分量、食事量の調整を行い形態を変えて摂取できる工夫をしている。			食事は生活、健康の基本ですので個人に合わせた提供を考えておられ十分に工夫されています。
	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない	食後3回歯磨きを行い、洗面所に行けない方は義歯洗浄と咳嗽を行い肺炎防止に取り組んでいる。口腔体操を取り入		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	寝たきり者、口腔ケアができない方は、モアブラシを用いてケアしています。

			D. ほとんどできていない	れ嚙下機能のリハビリを行っています。			
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	オムツ使用者や尿意のない利用者も日中はトイレで排泄が出来るように時間を見計らってトイレでの排泄をおこない、リハパンを避けてピッタリパンツに尿パットをあてている。状態に応じてパットの種類を変えている。便秘に関しては記録表で3日排便がない時には処置をしています。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	時間により尿の量が違うので、パットの種類を変えてコスト削減を行っています、おむつにならないように自立排泄を支援し続けます。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日曜を除く毎日入浴実施。入浴拒否をされる方、排便の都合等時間調整を行いリフト浴で安全な入浴を実施している。入浴中に手足のマッサージや個別対応ができるので本人と向き合い話を聞いています。			状況によっては入浴が午前が午後になったりします。ほとんどの方が介助が必要で入浴は決して時間たつぷりに入ることは時間的に制限されますが毎日の入浴で補っていただいています。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の生活スペースに合わせて、午睡したり、夜間良く眠れるように日中の活動に配慮している。眠剤を服用されている方は睡眠状況を把握している。不安・せん妄が強い方は主治医に相談しています。			個室なので自分が休息したいときに休めます。ベッドメイキングを1日2回行い気持ちよく寝床に入れるようにしています。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今は、処方箋に効能書きがあり名前、朝昼晩と書いているので理解ができている。口の中まで入れて確認するので誤薬もない。異常あれば直ぐ主治医に相談する		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	請薬の都度、薬の変更、用法、用量を回覧で回し職員が把握できるようにしています。

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々の生活で自分も役に立つんだと言う満足感を味わえるように洗濯干し、お膳拭き、新聞折り、ウエス切り、トイレトーパー折り、野菜の皮むきをしていただいている。	自分に役割があると実感することで、社会性の継続にもつながっていると思います。些細なことでも、自身が人の為になっていると実感できることが大切だと思います。		毎日の入浴で着替えるので自発的に数人が洗濯物を干しに来てくれています。これは、自分の仕事だと思っている所もあり継続できるよう声掛けしていきます。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍で花見や弁当を伴うイベントがすべて中止となった為、少しでも喜ぶように、普段行かない名所めぐりをしてくれています、家族に(LINE)画像を送り喜ばれていますので継続していきます。	入所者の思い(希望)に最大限寄り添ってサービスを行っておられます。コロナ禍においてもできるサービスを考えて実行されており素晴らしいと思います。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	物忘れて置いた場所が分からない、物盗られ妄想で取られたと思ひ込む関係で入所者には現金を持たせないようにしています。			本人に現金を持たせて買い物支援をしました。これからも継続していきたいと思います。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年賀状、暑中見舞いは様子が分かるように顔つき写真をのせて書ける方は一言書いてもらい出しています。電話はいつでもかけたり受け取ったりできる状態にしています。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ホールは明るく窓から畑で働く人を見たり遠くの山々の変化で天気を予想したり季節の移り代わりを感じて姫島にいることを実感してもらっています。壁面には自分たちが作成した手作りの貼り絵や切り絵を季節に応じて作成し見て楽しんでもらえるようにしています。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	独語のある方、手を叩いて音を出す方等様々ですが不快にならないように常に職員が気配り、工夫をしています。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	留守にしている家のこと、神仏等出来るだけ相談に乗り彼岸やお正月にお寺さんにお布施をもってお参りに連れていきます。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	離島内で利用者の暮らしぶり、生活背景が分かるのでその延長で生活できるよう支援している。			在宅中の友人、知人と同じユニットで過ごせるように配慮しています。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎朝の健康チェック、水分、食事、排泄管理を行い月1回の訪問診察と通院、日々の観察で見落としがないようにしている。毎日の入浴でボディチェック、皮膚ケアが行われている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	診療所との連携が密で休日、夜間でも緊急時に受け入れができる体制にある。
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共同生活ではあるが自分の部屋があるので自由に過ごすことができる。			入所者は同じ地域で育った馴染みの方たちなので姫島の方言で喋れて気を使わなくて済むので楽に暮らせています。
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	布団、服、テレビ、写真、手紙など自由に持ち込める。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
過誤		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	希望すればいつでも出かけられる、気候のよい時期はほぼ午後外出、今年は普段行けないような所を数人で制覇している。	施設内以外でも、十分に季節を感じられる庭を造られていますね、希望通りに外出が行えることは入居者のストレスを軽減するため素晴らしい取り組みだと思います。		催し事は全面中止であるが、公園や戸外にはよく出かけています。
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できることをやって頂いたらその人の役割になっている。できたことをほめると嬉しがり上手になる。できない事、わからないことは否定せず出来が悪くてもお礼を言う。			

47		<p>本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>昔の事を同じ口調、セリフでイキイキと自慢して話す、そうだったのかと聞いてレクに活かしたりしている。</p>	/	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	
48		<p>本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>今までは、地区の方との交流があったが現在はコロナ禍で、面会も制限となり出来ない。但し、職員が皆 島の方なので世間的な情報は得ることができている。</p>	<p>コロナ禍の現在では、地域交流が一番ハードルが高いところだと思います。そんな中でも職員の声掛け等で入居者が情報入手出来ていることは素晴らしいです。</p>	/	<p>面会制限の為交流することはなかったが条件付きでの面会緩和を行っている。</p>
49	総合	<p>本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>本当にひだまりに来てよかったと言う声を聞く。基本方針が生まれて育った島で慣れ親しんだ環境の下自由でくつろいだ生活をする、そして認知症になってもひだまりがあるから島から出て他の施設に行かなくて良い、安心して暮らせます。と喜んでもらえています。</p>	<p>認知症になっても生まれ育った地域で過ごすことで入居者様より満足の声が聞かれています。施設にとってこれ以上ないうれしいことだと思います。今後とも、入居者様に満足していただけるサービス提供をお願いいたします。</p>	<p>A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	